

平成22年度

# 特別会計決算の認定

各会計を合計した歳入及び歳出決算額を前年度と比較すると、歳入決算で13.0%、歳出決算で14.0%減少している。

一般会計から各特別会計の繰入金の状況は、総額で423,066千円となっており前年度に比べ6,203千円増加している。

区分	歳入総額	歳出総額	採 択
国民健康保険	15億1,535万円	14億681万円	賛成多数
後期高齢者医療	8,388万円	8,388万円	賛成多数
老人保健	7万円	7万円	全員賛成
介護保険	7億5,169万円	7億4,447万円	賛成多数
住宅新築資金等貸付	2,675万円	2,675万円	賛成多数
公共下水道事業	2億8,911万円	2億8,911万円	全員賛成
農業集落排水事業	3億4,652万円	3億4,652万円	全員賛成
学校給食事業	1億4,029万円	1億4,016万円	全員賛成
上水道事業	2億9,305万円	3億5,473万円	全員賛成
合 計	34億4,671万円	33億9,250万円	

一般会計55億3,964万円、特別会計（水道事業含む）33億9,250万円となり、平成22年度行政事業は約89億円が村民のために使われました。

質 疑

国民健康保険

質問 収納率が前年度より下降したのは。

税務課長 滞納整理の案件が若干整ってなかったのと、職員の減り、また課税誤りの件もありまして、滞納繰越分の減が響いて、全体的な徴収率の減につながったと認識しております。

学校給食事業

質問 給食費の滞納整理と不納欠損について。

教育委員会事務局 滞納整理に精力的に取り組みまして、訪問回数もふやし、電話での催告も行い、特に現年分の滞納を減らすことに、取り組めました。

不納欠損は、該当する子どもが卒業したりして、その世帯が村外に転出をして、不明だということなどで、催告書が返ってしまい、そのような件を、不納欠損しました。

## 健全化判断比率及び資金不足比率報告書

### 1 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— % (15.0)	— % (20.0)	5.5 % (25.0)	— % (350.0)

備考 1 実質赤字額及び連結実質赤字額はないため、将来負担比率は算定されないため、「—」と記載している。  
2 括弧内は本村における早期健全化基準である。

### 2 資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率
上水道事業会計	— %
公共下水道事業特別会計	— %
農業集落排水事業特別会計	— %

備考 1 資金不足比率は算定されないため、「—」と記載している。  
2 各公営企業における経営健全化基準は「20.0%」である。